

令和 8 年第 5 回定例会一般質問通告要旨〔概要版〕

● 9 月 1 日（火）： 順 番 1 ～ 順 番 5

順 番	1	質問者氏名	清 野 栄 一
質 問 事 項	質 問 要 旨		
1 物価高による母子世帯の苦境について	厚生労働省は、「2025年国民生活基礎調査」結果を公表、「大変苦しい」「やや苦しい」と答えた世帯は55.4%、母子世帯は82.1%、子どものいる世帯は苦しさを感じている。子どもは、市や国の宝である。そこで、以下について伺う。 ①国民生活基礎調査の結果を受けた所感 ②本市の母子世帯数及び母子世帯児童数 ③本市の母子世帯児童の食事の実態と夏休みにおける食事実態 ④母子世帯への本市独自の緊急支援の実施		
2 豪雨対策等について	7月26日、豪雨災害が発生。市内全域に避難指示が発令、道路の冠水などが発生し冠水したままの道路が報道されている。水原地区においては内水氾濫が発生、河川改修が進められているが、いつもの箇所での内水氾濫であり対策の効果が見えにくい。そこで、 ①避難指示下における避難所設置の考え方 ②内水対策の進捗状況と事業促進のための取り組み強化について 所見を伺う。		
3 二瓶コレクションについて	平成24年5月、二瓶文和さんから本市に寄贈された竹久夢二、相馬御風、会津八一など（いわゆる二瓶コレクション）の作品群について、作者別にどのような作品がどの程度あるのか、どのような整理が行われたのか。また、今後の活用策について伺う。		

順 番	2	質問者氏名	阿 部 順 三
質 問 事 項	質 問 要 旨		
1 阿賀野市の震災対策について	阿賀野市においても、新潟地震、中越地震、中越沖地震を経験し、震災対策についてさまざま検討がなされ、当時と比べると耐震化が進んでいるものと思われます。今回の熊本地震のニュースを見ると、イオンモール熊本のガス爆発事故や日本製紙の煙突倒壊のほか、木造の一般家屋の崩壊が意外と多いことや断水・停電の長期化により猛暑の中の厳しい避難生活を強いられていることなど、ライフラインの震災対策が急務と思われます。 阿賀野市では、ライフラインの震災対策がどのように講じられているのか伺います。		

順番	3	質問者氏名	清水 博 英
質 問 事 項		質 問 要 旨	
1 特別障害者手当支給状況等について		障害者総合支援法の目的にのっとり、障がい者（児）が自立した日常生活や社会生活を送れるよう、必要な福祉サービスの提供や相談支援、権利擁護のための援助を総合的かつ計画的に行う責務があります。そこで、当市の特別障害者手当の支給状況等について、お尋ねします。 ①特別障害者手当制度の周知は、どのように行っているのか。 ②当市ならびに近隣自治体の受給者数の推移（過去5年） ③対象と見込まれる市民のうち、実際の受給率は。 ④潜在的対象者の把握（各関連部署との連携）は、どのように行っているのか。 ⑤障がい者福祉行政全般における担当部署（職員等）の研修内容について。	
2 市営住宅の整備ならびに建設計画について		当市の市営住宅の現状、平成25年策定の「市営住宅長寿命化計画」の進捗状況と今後の整備計画等についてお尋ねします。 ①市営住宅の経年数、管理、入居戸数、年齢層について。 ②新たな入居希望者に対する対応について。 ③老朽化が進んでいる建物の修繕の対応状況について。 住まいを確保するため「社会保障としての居住保障政策」が必要と考えます。人口減少対策としても、子育て世帯等への低廉な住宅提供や移住・定住促進策の観点からも、新たな市営住宅の計画的な事業展開が望まれると考えます。市長の見解を伺います。	

順番	4	質問者氏名	披田野 勝 幸
質 問 事 項		質 問 要 旨	
1 少子化時代における認定こども園等の持続可能な運営と地域子育て環境の維持・継続について		少子化が進行し、認定こども園等や児童クラブの運営が厳しい現状下にあります。そこで、認定こども園等の運営や、保育士等の雇用など、次の点についてお伺いいたします。 (1)少子化による認定こども園等の運営や保育士等の雇用への影響について、どのような危機感を持っているのか。 (2)認定こども園等の経営の安定化につなげるためにも「病児保育」「一時預かり」「児童クラブ」「発達支援」「子育て相談」などへの活用を更に進める考えはどうか。 (3)子育て世代を対象とした「医」「食」「住」関連に支援制度を設けているが、情報は十分行き届いていると思っているのか。また、支援制度を拡充するお考えはあるのか。	
2 相続人不在の空き家増加と超高		近年、管理が困難となる空き家や土地が増加しております。しかしながら、国土調査(地籍調査)が未実施の地域も残されており、境	

齡社会における 国土調査（地籍調 査）の推進につい て	界や土地面積が確定していないことから、空き家の処分などが懸念 されます。さらに、所有者不明土地の発生防止や災害復旧の迅速化 という観点からも、地籍調査の重要性は高まっております。 そこで、3点お伺いします。 (1)国土調査(地籍調査)の進捗状況と未実施地域の現状はどうか。 (2)相続人不在の空き家や所有者不明土地の増加、地籍調査の必要 性について、どのように認識しているのか。 (3)高齢者世帯が資産継承や土地管理を行える環境整備のため、ど のような計画で地籍調査を進めていく考えかお伺いします。
---	--

順番	5	質問者氏名	風 間 輝 栄
質 問 事 項	質 問 要 旨		
1 「空き家税」導入 について	所有者に空き家を売却や賃貸といった「有効活用」を促すこと で、解決のため「空き家税」導入に向けた条例整備の検討が必要 と考えますが、市長の見解を伺います。 ①現在の空き家数と相続不明空き家は何軒あるのか。 ②相続不明空き家の固定資産税滞納状況はどうなっているのか。 ③空き家バンクの年間成約件数はどうなってるのか。機能してい るのか。 ④信頼と実績・資本力のある買取り業者と連携して、取り組み強 化はできないものか。 ⑤空き家を自治体に寄付したい場合、受け入れ条件はあるのか。 ⑥空き家放置果樹・樹木などの伐採を日頃から指導強化できない ものか。		
2 大雨災害につい て	7月26日の大雨災害レベル4が発令され、避難所30か所が 設置されました。迅速な判断・対応に感謝しております。 8月10日には議員懇談会において被害状況の詳細説明があ り、建物被害床上浸水9件、床下浸水61件、店舗・倉庫・車庫 などの浸水49件、林道五頭山麓線（やまびこ通り）路肩崩落3 カ所、安野川氾濫による稲作への影響など主な被害状況の説明が ありました。今回の災害から私たちは何を学び、改善点・反省す るところもあったと思います。今後、この教訓をどう生かしてい くのか市長の見解を伺います。		

● 9 月 2 日（水）： 順 番 6 ～ 順 番 1 0

順 番	6	質 問 者 氏 名	宮 脇 雅 夫
質 問 事 項	質 問 要 旨		
1 教育費の負担軽減について	義務教育費の理不尽な保護者負担をなくすべき時です。そこで、以下の点を伺います。 ①当市も一刻も早く中学校も無償化すべきでないか。また、無償化に必要な予算額について。 ②副教材費や保護者の重い負担になっている学生服代、修学旅行費なども無償化すべきでないか。無償化に必要な予算額について。 ③共稼ぎしないとますます生活が苦しくなっている今、学童保育（児童クラブ）の利用料も無料とすべき時でないか。現在の利用率（小学１～３年生）、１人当たりの利用料と無料化に必要な予算額について。		
2 安田体育館の改修計画と旧安田公民館の解体工事について	熊本地震があり、指定避難所にはエアコン設置が不可欠です。また、子ども・市民の利用が増え、健康増進にも寄与する市民に愛される施設にすることが求められています。そこで、改修内容・時期について伺います。また、旧安田公民館の解体工事の時期と解体後の跡地利用について伺います。		

順 番	7	質 問 者 氏 名	遠 藤 孝
質 問 事 項	質 問 要 旨		
1 阿賀野市総合計画について	総合計画２０１６－２０２４「基本計画２０２１－２０２４期」が終わり、２０２５－２０３２「基本計画２０２５－２０２８期」がスタート、６つの分野別政策、１つの総合的政策の下、施策別の計画が定められています。 計画における成果指標の動向、進捗状況は、例年、報告いただいているところでこれまでの成果の動向について、現時点で示せる範囲で伺います。		
2 阿賀野市都市計画マスタープランについて	マスタープランには、バイパスを生かしたまちづくりや道の駅を活性化、都市農村の交流拠点と掲げられていますが、「まちづくり」の現在の進捗状況について市長に伺います。 五頭温泉郷の観光振興や企業誘致による商工業振興、有機農法を生かした農業振興など、を取り巻く環境は市長が就任されて変化していることも多く、中小河川のハザードマップも公表されました。安全安心に住み続けられる「まちづくり」の課題も踏まえ、都市計画マスタープランや立地適正化計画について、今後見直す考えがあるのか併せて伺います。		

順番	8	質問者氏名	天 野 市 榮
質 問 事 項		質 問 要 旨	
1 道の駅の現状と次期指定管理に向けた方針について		運営状況と次期指定管理方針について、下記の点を中心に伺う。 1 現指定管理者による施設の運営状況について (1)協定に基づき適正・適切に行われているのか。市との連携によるPDCAと理解しているが、問題点はなかったのか。 (2)「経営能力発揮、効率的運営で収益改善、経済の活性化に取り組まれない。」とある、監査結果の対応はどうなっているのか。 (3)イベントによる売上やテナント収入増が挙げられる。地元産農産物の調達は農協との連携が必要と思われるがどうか。 (4)自主性を前提とし、市は側面支援、施設の維持・修繕、イベントの開催支援、役割分担についてはどうなっているのか。 (5)「道路休憩施設等維持管理業務委託」、トイレの管理業務のことか。入札以外の随意契約で受注している業務もあるのか。 (6)防災拠点として位置付けられ、国土交通省の交付金額は幾らか。また、どのような機能を有しているのか。 2 次期指定管理に向けた方針について (1)次期は現指定管理者を予定しているのか。公募する予定か。 (2)次期は現指定期間と同様の5年間か。 (3)指定管理料を支払っていないが、次期に対してはどうか。 (4)業務を行うエリアについては、次期指定管理ではエリアの変更を予定しているのか。 (5)行う業務は、次期では変更を予定しているのか。 (6)「利益が生じた場合、2分の1以上の納付金として市に納入するものとします」とあるが実績があるのか。この規定の変更は考えているのか。 (7)検討課題として、協定書、業務要求水準書、その他合意・締結した規程の見直しは考えているのか。 (8)スケジュールはどうなっているのか。指定議決に係る議会への議案提出時期はいつ頃か。	
2 県営東部産業団地の現状と今後の見通しについて		国道49号線水原バイパスが開通し、パンフレットには「阿賀野市から新潟東港や県外（新潟亀田IC経由）へのアクセス性が向上し、地域産業の物流を支援します。」と記載されている。 安田バイパスと結節し阿賀野バイパスを形成し、工業団地が高速道路のインターチェンジ2か所と直結する物流網が完成した。 今後は「地の利」を生かした企業誘致にも弾みが出てくるものと思われる。東部産業団地の現下の状況と今後の見通しについて、市長の见解を伺う。	

順番	9	質問者氏名	村 上 清 彦
質 問 事 項		質 問 要 旨	
1 インバウンド観光施策の取り組みについて		①令和6年12月定例会での質問以降、県による高付加価値インバウンドマスタープランの改定など動きが進む中、本市の参画状況や具体的な進捗はどう変化したか。 ②五頭温泉郷のウェルネス資源の海外富裕層向けコンテンツ化について、磨き上げの進捗はどうか。 ③「阿賀野川ライン観光協会」を核とした流域連携において、広域観光を促すための「アシ（二次交通）」「ヒト（ガイド）」の整備状況、および今後の具体的な戦略について伺う	

順番	10	質問者氏名	松 崎 良 繼
質 問 事 項		質 問 要 旨	
1 災害避難体制について		土砂災害の危険が大きい山手地域の避難所を増やすことと、身近な避難場所への避難を最優先とする呼び掛けをすることが重要と思いますが、見解を伺います。 清潔な仮設トイレのいち早い整備、地震国イタリアで進んでいる食堂テントなどで、栄養バランスの取れた食事の提供体制整備、衛生的な段ボールベッドやプライバシーの守れる環境の整備などですが、阿賀野市での整備状況についてお知らせください。 夏の災害では猛暑、酷暑が通常となっており、主要な避難所となる水原総合体育館、学校の体育館のエアコン整備は、教育環境整備の面からも急がれると思います。計画を伺います。	
2 コメをめぐる情勢と食糧法改悪、農業の課題について		県のJA仮渡金も前年比で4割減、2万円を割るかもしれないという観測がなされています。原因は民間在庫の増と言われていますが、本当の原因は政府が備蓄米を放出して買い戻さない上、備蓄米買い入れを中止したことにあります。高市内閣は「収穫前の買い戻しを」という都道府県知事会や関係団体の要請に応えず、新米価格が低下する事態を放置しています。市長としても要請すべきと思いますが答弁を求めます。 米農家の再生産維持には、価格がコストを下回った場合政府が差額を補填することが不可欠です。米の店頭価格は家計を圧迫しない水準に落ち着かせることが求められます。そのためには農水予算を増額することが必要と考えますが、市長の見解を伺います。 農機具購入助成制度は、機械更新を後押しする制度であり今後も存続が望まれています。ポイント要件を緩和してほしいという声が出されていますが、見解を求めます。 地産地消を進めるため、道の駅、うらら即売所をはじめ農産物直売に対する支援を創設することを求めますが、見解を伺います。	

